

# 霞ヶ浦水源地の総合保全に向けた コンソーシアムの設立とコミュニティ ビジネスの流域ネットワーク化

活動地域  茨城県

ひろげる助成

3年目

実践

水源地の再生面積 **36 ha**

イベント参加者数 **683人**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **100%**



霞ヶ浦水源地・森林や放置竹林を広域で整備

## 苦勞した点と工夫した点

### ■苦勞した点

新型コロナウイルス禍で、地域コミュニティ(集落)を支えている高齢者への配慮から、交流事業が思うように進められなかったが、スタッフを通じた情報交換や文書での交流を行った。

### ■工夫した点

竹細工や竈炊きご飯等、昔の暮らし体験を導入し新たな参加者を誘致した。馬を導入して、餌を地域内供給することで広範囲の耕作放棄地等への働きかけを生み出した。

## 課題

霞ヶ浦流域では水源地を管理してきた集落の過疎化が進み、耕作放棄地の増加や森林の荒廃が進んでいる。流域を視野に水源地を総合的に保全再生することが課題となっている。

## 目標

霞ヶ浦流域の主要3水系で、水源地の耕作放棄地再生と森林整備を過疎集落の活性化と一体化したコミュニティビジネスを興し、流域展開への体制作りを行う。

## 活動内容と成果

水源地の集落に拠点(古民家)を作り新たな参加者を誘致したことが事業の発展につながった。馬を導入し100%餌を自給することで広範囲の里山(36ha)に働きかけることができた。再生地に多くの地権者がいたが、地元自治会等の協力を得て作業を進めることができた。地元野菜等を販売する直売所ができる等の波及効果が生まれた。広域での里山再生を実現できたことで、湧水の復活や生物多様性の向上等の効果が得られた。霞ヶ浦流域の各水源地に展開させていくためのモデルを構築できた。



古民家カフェで開催したセミナー

## 全助成期間の活動を振り返って

霞ヶ浦流域の主要な3水系における谷津田での森林整備や耕作放棄地の再生面積は予定より広げることができた。再生地には多くの地権者がいたが、地元自治会等の協力を得て作業を進めることができた。水源地の集落に拠点を設けたことで、地域により密着した活動が可能となった。古民家での体験イベントやシンポジウム等を通して新たな企業やグループの参加があり、今後の事業の継続や拡大につながる機会を得ることができた。



整備した放置竹林の竹を食べる馬

〒300-1222  
茨城県牛久市南3-4-21  
電話：029-871-7166  
E-mail：asaza@www.asaza.jp  
HP：http://www.asaza.jp



## 今後の 展望

今回の事業を通して、霞ヶ浦流域の水源地を広域的に保全再生するための手法と、それらの取組みを持続的に実施していくためのモデル地域を作ることができたので、今後は各水系間の人や物や情報等の交流を活性化させ、流域保全へと機能するコンソーシアムへと発展させていきたい。霞ヶ浦流域が災害時の避難先やリモートワークの受け皿となるよう、水源地再生事業を通じた都内と集落の平時からの関係作りを行っていきたい。

